

電動夏子安置システム#018
錯覚の喜劇三部～《目》

電動夏子安置システム 第18回公演

笑うフレゴリ

脚本・構成 竹田哲士
演出 高松亮



2008年10月23日(木)～26日(日)

シアターグリーン
BASE THEATER

JR・東武・西武・東京外口『池袋』駅より徒歩7分

電動夏子安置システムがお送りする、2008年、錯覚の三部作。

「錯覚の喜劇三部」

私が芝居を面白いと思って、この無間地獄のような世界に片足を浸してもう10年になります。10年間で少しでも面白い芝居を創ろうと、しかも喜劇を創ろうと頭を悩ましてきました。その結果、キゲキッポイものは多々生み出せたような気がしますが、まだまだ満足いく物は創れませんし、この先もそれが出来るかどうか分かりません。創れた時点で芝居をやめることでしよう。満足のいく喜劇を創る為に、ここ何年かを費やして、喜劇の方法を模索してきました。

まず、人間同士のドラマでなければいけないので、「人間」というものが存在している世界を浮き立たせるため、「Performen」というシリーズを試しました。人間というのは、常に世界というものと多かれ少なかれ摩擦をおこして生きているものです。例えばその摩擦が意図的に大きくされれば、何気ない日常生活がどんなに歪んで、傍からみたらどんなに滑稽であるか。登場人物の感情とは一切関係ないシステムを使って、人工的な非日常世界に生じる笑いの方法。

そして自分という存在が、他人の言動の及ぼす因果の積み重ねで成り立っている事を表現した「ジェノルマ」というシリーズ。このやはり作画的な空間の中で、登場人物たちが必死になり、エゴを押し付けあうその真面目さに、笑いが生まれるのです。

つまり意図的に人間関係に溝を生み出し、ドラマに摩擦が生じれば笑いが起きる。上記「意図的に」の部分が、当劇団の作品にたびたび設定されている「不条理なルール」のことです。物語そっちのけのこの方法で、創る側はもちろん、観ている側の脳を疲弊させるような作品を提供してきました。

そして10年目の暮れに、これらの方法を用いて「喜劇」というものに改めて取り組んでみようと思うのです。今回、「錯覚」という現象をモチーフに3作品をお送りするわけですが、形として三部という構成になりました。この3という数字には意味はありませんが、私が興味を持って、「Performen」シリーズでもたびたびルールとして使われている代表的な錯覚を使用します。

「錯覚」とはあくまで自己の中での完結した感覚です。だからこそ、それ以外の他の世界と摩擦をおこしやすく、笑いの生まれる隙が生じます。そして3作に共通して言えることは、自分が認識している世界が全てではなく、必ず、そうではない別の世界との狭間にて、そのどちらかに自分が属していて他方を「異」と思って暮らしてしまっている、まさに錯覚のお話です。

最後に、悲劇とは、

「どうにもならない状況をどうにかしようと必死になった結果、どうにもならなかった人達のドラマ」

であり、どうにもならない状況とは、

「不条理なルール」

の事であり。
そして喜劇とは、

「笑える悲劇」

の事だと考えるのです。

電動夏子安置システム
主宰 竹田哲士

ご挨拶

「錯覚の三部作」第1弾に起こし頂き本当にありがとうございます。

まずは視覚編です。

それを踏まえてという訳ではありませんが、稽古が始まる前にエッシャー展を観に行きました。まあ今回の芝居に生かせる発見をした訳では無いのですが、自分が見ているものがどれだけ曖昧なものか、という確認です。自分にとっての風景がはたして他人にとって同じ風景なのか。感覚というものに頼る分野なので答えのすりあわせが出来ません。赤く見えているものが他の人には青く見えていたり。それでも同じ感想を分かち合えたりするのです。もし一瞬でも他人の感覚に入り込む事が出来たら驚きの体験をするかも知れないと思います。

確実に他人と違うものが見えている世界。そこに至ってしまったらさぞ不可解で滑稽な反応をするでしょう。と、なんだか「世にも奇妙な物語」のタモリみたいな事を言ってみました。

どーも高松です。

自分自身そういった錯視的状况に陥った事はおろか幻覚を見たこともありません。正常です目。ただ視力は悪いので眼鏡はかかせません。最近見知らぬ方に眼鏡君と呼ばれた位、トレードマーク眼鏡です。その方も眼鏡をかけていたので、始め幻聴かと思いました。

私幻聴はよく聞くので…

やめます。これはまた別の話。

今回は視覚の話です。

目で見えるもののみならず見えないものまで錯覚して頂けたらと思っています。

高松亮(演出)

「笑うフレゴリ」…とある一家のたった一晩におきた、まさに夢であってほしいお話。

自分には他人の視界が分かることができません。全く同じ物を見ている、人が目にしている光景が、必ずしも自分が認識している光景と一緒にあるとは限らないのです。

目の錯覚とは、単純に視力・眼球・神経といった、まあ、なんかそういった難しい感じの人体的なもの以外に、頭とか心とかが関係してるんだと思います。

頭や心が目から入ってくる情報から、自分にとって都合のいいものだけを拾ってるのではないのでしょうか。

全てを真実のままに受け入れたら、処理しきれない事の方が多いのではないのでしょうか。

普段意識しないものは、その程度のものであるという「目の錯覚」のモチーフ。

竹田哲士(脚本・構成)



伊奈村晃司/イナムラコウジ (野口雄介)

『伊奈村伽耶』のペンネームで伽耶と
共作活動するミステリ作家。

【役者よりコメント】

どうも!!電夏さんには4回目の出演になります。今回は珍しくよく動きます。
さて目の錯覚。

ボクは『イカを呼ぶ!』というネット番組をやってるんですが、
そのメインMCの相手としてマキトという男とわちという女がいます。
二人とも同年なんですけど、三人含めてとにかく酒飲みなわけです。
打ち合わせでも本放送でもまあ飲んで酔っ払ってるわけなんですけど
これが面白い。後日に話を合わせるるとそれぞれ全然見ているものが違うんです。
これもある種の錯覚。日常にも意外と普通に錯覚はあるもんなんですね。
まあ酔っ払って記憶が曖昧とも言えますが、そして今日も飲むのです。

【今後の予定】

演劇企画集団ロンドンパンダ『タイトル未定』

【期間】2008年12月19日～23日

【劇場】下北沢 楽園

【お問い合わせ】

<http://londonpanda.sakura.ne.jp/>

インターネットTV番組 おひげテレビ『イカを呼ぶ!』レギュラーMC

11月22日(土)・12月27日(土)放送予定!!

月一回放送・20時～23時、三時間生放送のユルユル系バラエティ番組です。

【お問い合わせ】

<http://ikawoyobu.blog36.fc2.com/>

<http://ohige.org>

【役者よりコメント】

私の住む町にはトヨエツがいます。あ、私が勝手にそう呼んでる中年男性のこと
なんですけど。

朝は公園のベンチでポータブルラジオを聞き、昼は図書館で小説や洋書を読み、
夕方になるとまたラジオを聞きながらサンダルを引きずって帰路につくのです。
私が知るかぎり少なくとも15年はこんな毎日を過ごされているようで、その立ち姿
がなんともアンニュイ&セクシーなので「トヨエツ」と名付けた次第です。

伽耶がこれから年令を重ねて迷走人生から抜け出せた時こんな雰囲気の人にな
ると思います。

先日、こっそり彼の後をつけてみました。が、さりげなくまかれました。

う～ん、アンニュイ。

【今後の予定】

多少婦人vol.7『あひ』

【期間】2009年1月21日(水)～25日(日)

【劇場】下北沢OFF・OFFシアター

【お問い合わせ】

<http://www.tashoufujin.com/homepage/kaku-homepage/>



伊奈村伽耶/イナムラカヤ (阿部恭子)

同作家。達雄の通夜のあった夜、
とある目的で小比野家を訪れる。

【役者よりコメント】

「故意に錯覚に陥ることが出来たら、どんなに良いだろう」と言った人がいます。
誰かは忘れました。もしかしたら、酔った時の僕かもかもしれません。それはさて置
き、錯覚はそれを体験している間は当事者にとっては真実なわけで、役者に
限って言えば「故意に錯覚に陥る」とは確かに望ましいことかもしれません。し
かしながら役者が錯覚に陥らせるのは自分だけではないのもまた、事実です。
どうぞ、最後までお楽しみ頂ければ幸いです。

【今後の予定】

劇団競泳水着

第十回記念公演第二期・トレンディードラマシリーズ三部作

第三弾『プリンで乾杯』

【期間】12/10(水)～16(火)

【劇場】王子小劇場

【お問い合わせ】info@k-mizugi.com



小比野陽菜/オビノヒナ (和知龍範)

小比野家の長女。外見と口調は男だが中身は
れっきとした女性。

【役者よりメッセージ】

電夏さんとは4年前からのお付き合い。「ジェノルマ」「Performen参」などに出演。以前から電夏ロジックに四苦八苦。たまにトリックの理解が全く間違ってる事がある。私の中ではちゃんと解き明かされてるので、問題なくお芝居する。そしたら公演3日目くらいに観に来た友人から真実を知る、みたいな。暗黙の了解じゃんそは！みたいな空気。言って言って！わかんないよ！みたいな私。戦いなんです、これは。

【今後の予定】

箱庭円舞曲 第十二楽章【メガネにだまされた】
(下北沢演劇祭参加作品)
【期間】2009年2月18日～3月1日
【劇場】下北沢OFFOFFシアター
【お問い合わせ】<http://www.hakoniwa-e.com/>

●片桐はづきBLOG

<http://ameblo.jp/hazuki-umazuki/>

【役者よりメッセージ】

まさかこの歳になって高校生役をやるとは思わなかった。普段からよく、疲れてるね、とか、顔色がよくないね、とか言われるので、今回の役作りは健康的な身体作りから始まる。そして、とにかく若いよう！これを特に意識して生活をした。そのおかげか、今ではすっかりそこいらにいる高校生に溶け込んでしまっている。ついこの間なんか、陽気に街を歩いていたら「お前どこ中だ」なんて声をかけられた。これにはかなり心躍らされたが、それと同時にものすごく焦った。若くしすぎてしまったのだ。これでは本末転倒である。急いで逆の作業にとりかかる。目一杯不健康な生活を。自分の計算では、初日にはちょうどいい塩梅になっているはずである。

【今後の予定】

ZOKKY『王子リバーシブル#02「ZOKKYののぞき部屋コレクションPart3」』
【期間】2008年11月19日～11月24日
【劇場】王子小劇場・裏
【お問い合わせ】info@zokky.jp 090-9397-7438 (小林)

【役者よりメッセージ】

確かメガネを掛け出したのが小学5年生。以来、メガネとコンタクト生活でした。『無人島に1つだけ持って行くなら何?』ええ。間違いなくメガネです。日本は珍しく徴兵制がありませんね。ホント、日本に生まれて良かったです。戦闘そっちのけでメガネを死守する事に必死です。メガネ損傷は我が命を落とすに等しいからです。就寝中の大地震。メガネを真っ先に死守しないと、これも間違いなく生存できません。0.03という視力はそういう事なのです。それが。先日レーシック手術を受けたワタクシ道井。視力が1.5になりました。寝て起きて、視界がクッキリは小学校以来の体験です。裸眼です。裸眼で1.5。見えまくります。浮かれています。でも、浮かれてちゃあイカンのです。目に見えるものが全てだと思っちゃあイカンのです。大切な事は云たらかんたら…。かの有名な王子様も言っていましたっけ。今回は目の錯覚のお話です。

【今後の予定】

電動夏子安置システム 本公演 出演
2008年11月『笑う通訳』
2008年12月『そのどちらかは、笑わない。』
2009年 5月『Performen 4 (仮)』
来春公開【旭山動物園物語】(マキノ雅彦監督)・出演



小比野亜莉/オビノアリ(片桐はづき)

小比野家の次女。
家を出て一人暮らし。妻子持ちの男と恋愛中。



小比野瑠加/オビノルカ(瀬尾卓也)

小比野家の次男。
父・達雄に似て、植物を愛する大人しい末っ子。



小比野俊雄/オビノシオ(道井良樹)

達雄の弟。兄妹達の叔父にあたる。
兄の衝撃的な遺言を預かる。



樽田久美子/タルダクミコ (なしお成)

達雄の妹。兄妹達の叔母にあたる。
最近、妙な宗教に熱をあげる。

【役者よりメッセージ】

錯覚といえば小学生の頃、世界は父と母と兄と先生と友達までしかなかった。
子供心にそこは窮屈で、友達は意地悪だった。意地悪な友達におびえながら、
早くおばあちゃんになれればいいと思っていたのだ。
しかし私はある日錯覚する。
大嫌いなマリコちゃんにこう呼びかけた。

「ママあ！」

【今後の予定】

電動夏子安置システム 本公演 出演
2008年11月『笑う通訳』
2008年12月『そのどちらかは、笑わない。』
2009年 5月『Performen 4 (仮)』

【役者よりメッセージ】

昼でも夜でもこんばんは、高木エルムです。
柿喰う客から来ました。

身の丈六尺のひょろり男です。
白髪が沢山あります。
視力は0.3位です。確か。
メガネはあまりかけません。
コンタクトは怖いのでしてません。

本編とは関係ない自己紹介でした。
そんなエルムは『淳』という役の中で、誰にもバレないように小さくなって、
フレゴリさんと一緒に笑っていたいと思っています。
僕らが表面に出せない分、大つばらに楽しんで頂けたら幸いです。

【今後の予定】

こゆび侍企画公演『胎をあげる』
【作・演出】成島秀和
【期間】2008年12月9日～14日
【会場】ギャラリー・ルデコ 4F
【お問い合わせ】こゆび侍
koyubimail@yahoo.co.jp
090-9955-3601
<http://koyubi.chips.jp/>

柿喰う客 国内ツアー『恋人としては無理』
【作・演出】中屋敷法仁
【期間】2009年3月から(東京、大阪、愛知ほか)

柿喰う客 第15回公演『タイトル未定』
【作・演出】中屋敷法仁
【期間】2009年9月4日(金)～13日(日)
【会場】シアタートラム

【お問合せ】柿喰う客
mail→info@kaki-kuu-kyaku.com
web→<http://kaki-kuu-kyaku.com/>



小比野淳/オビノジュン (高木エルム)

久美子の息子。
従姉妹の陽菜と結婚し小比野家の婿養子となる。

【役者よりメッセージ】

まずいな朝から咳が止まらない。
ここ3週間風邪が治らない。
ねえ母さん！こんなに長い風邪は初めてなの私死ぬかもしれない。
ああああああこれは罰だ。

なしおに米をせびった罰だ。
じょんに米をせびった罰だ。
高松くんの頭を米みてえだと笑った罰だ。

病院へ行こう。

『正常です。・・・風邪？・・・錯覚です。』

先週の火曜日、あたしは自分を風邪だと勘違った。
こんなことってあるのね・・・。

つつっしゃああああ！！
せびるぜ～！！

【今後の予定】

電動夏子安置システム 本公演 出演
2008年11月『笑う通訳』
2008年12月『そのどちらかは、笑わない。』
2009年 5月『Performen 4 (仮)』



荒木真子/アラキマコ (渡辺美弥子)

俊雄の娘。
父の反対を押し切り荒木と結婚し、一女を授かる。

【役者よりメッセージ】

同じ事を日々繰り返す生活だと、昨日おとといの事なのに今日の事に
思っちゃったりするのよくあると思います。

昨日の仕事なのに今日分もやった気になってしまうとか、
話した事を誰に話したかわからなくなるとか、
その時いなかった人に話したつもりになって「あれ？話してないっけ？」
みたいなの。
やったのにやってないと思っちゃって同じ事繰り返すとか。
たまに自分が誰かわからなくなるとかね。

それ痴呆？痴呆なの！？

【今後の予定】

電動夏子安置システム 本公演 出演
2008年12月『そのどちらかは、笑わない。』
2009年 5月『Performen 4 (仮)』



荒木徹/アラキトオル (小原雄平)

真子の夫。
大阪への出張中に訃報を受け、急遽引き返す。

DENDOH NATSUKO ANTI SYSTEM PERFORMANCE #018

電動夏子安置システム#018
錯覚の喜劇三部～《目》

笑うフレゴリ

2008年10月23日(木)～26日(日)

脚本・構成 竹田哲士
演出 高松亮

PERFORMANCE

渡辺美弥子 小原雄平 道井良樹 なしお成 (電動夏子安置システム)

阿部恭子 (多少婦人)

高木エルム (柿喰う客)

片桐はづき 瀬尾卓也 野口雄介 和知龍範

STAGE DESIGN

■企画製作：村上朋弘 (オフィスFLIP-TOP) ■舞台監督：酒巻未由來 (PACIFIC ART CENTER) ■照明：たなか一絵
■音楽：榊原正吾 (オフィスFLIP-TOP) ■音響：古場田良子 (オフィスFLIP-TOP) ■宣伝美術：煽動屋企画
■衣裳：サワダミナミ ■小道具：米倉由美・オパラック ■写真撮影：荒多恵子
■映像撮影：唐沢真史 ■制作：村上朋弘・酒井智代 (オフィスFLIP-TOP)

SPECIAL THANKS

明治大学演劇研究部 多少婦人 柿喰う客 ボスカレ ホチキス ダムダム弾団
上田理紗子 清水阿弥 加藤恭子 川崎美波

電動夏子安置システム
3ヶ

視覚を疑え。
聴覚を疑え。
その貴方の感じるものは、真実か？

連続喜劇

DENDOH NATSUKO ANTI SYSTEM PERFORMANCE #019

電動夏子安置システム#019
錯覚の喜劇三部～《耳》

笑う通訳

■■■■PERFORMANCE

渡辺美弥子 道井良樹 なしお成 岩田裕耳

(電動夏子安置システム)

阿部恭子 小笠原佳秀 加藤敦 添野豪

(多少婦人) (ボスカレ) (ホチキス) (ダムダム弾団)

斉藤きこり 松本寛子

2008.11.13(THU)～16(SUN)

11月13日(木) 19:30
11月14日(金) 19:30
11月15日(土) 12:00/15:30/19:00
11月16日(日) 12:00/15:30/19:00

*開演40分前より受付開始。
開演30分前より開場となります。

DENDOH NATSUKO ANTI SYSTEM PERFORMANCE #020

電動夏子安置システム#020
錯覚の喜劇三部～《時》

そのどちらかは、笑わない。

■■■■PERFORMANCE

渡辺美弥子 小原雄平 じょん

道井良樹 澤村一博 なしお成

岩田裕耳 高松亮

(電動夏子安置システム)

2008.12.18(THU)～21(SUN)

12月18日(木) 19:30
12月19日(金) 19:30
12月20日(土) 12:00/15:30/19:00
12月21日(日) 12:00/15:30/19:00

*開演40分前より受付開始。
開演30分前より開場となります。

019 2008年11月13日(木)～16日(日)
020 2008年12月18日(木)～21日(日)

シアターグリーン
BASE THEATER

JR・東武・西武・東京メトロ『池袋』駅より徒歩7分



電動夏子安置システム
<http://www.dna-system.com>
fliptop@dna-system.com

